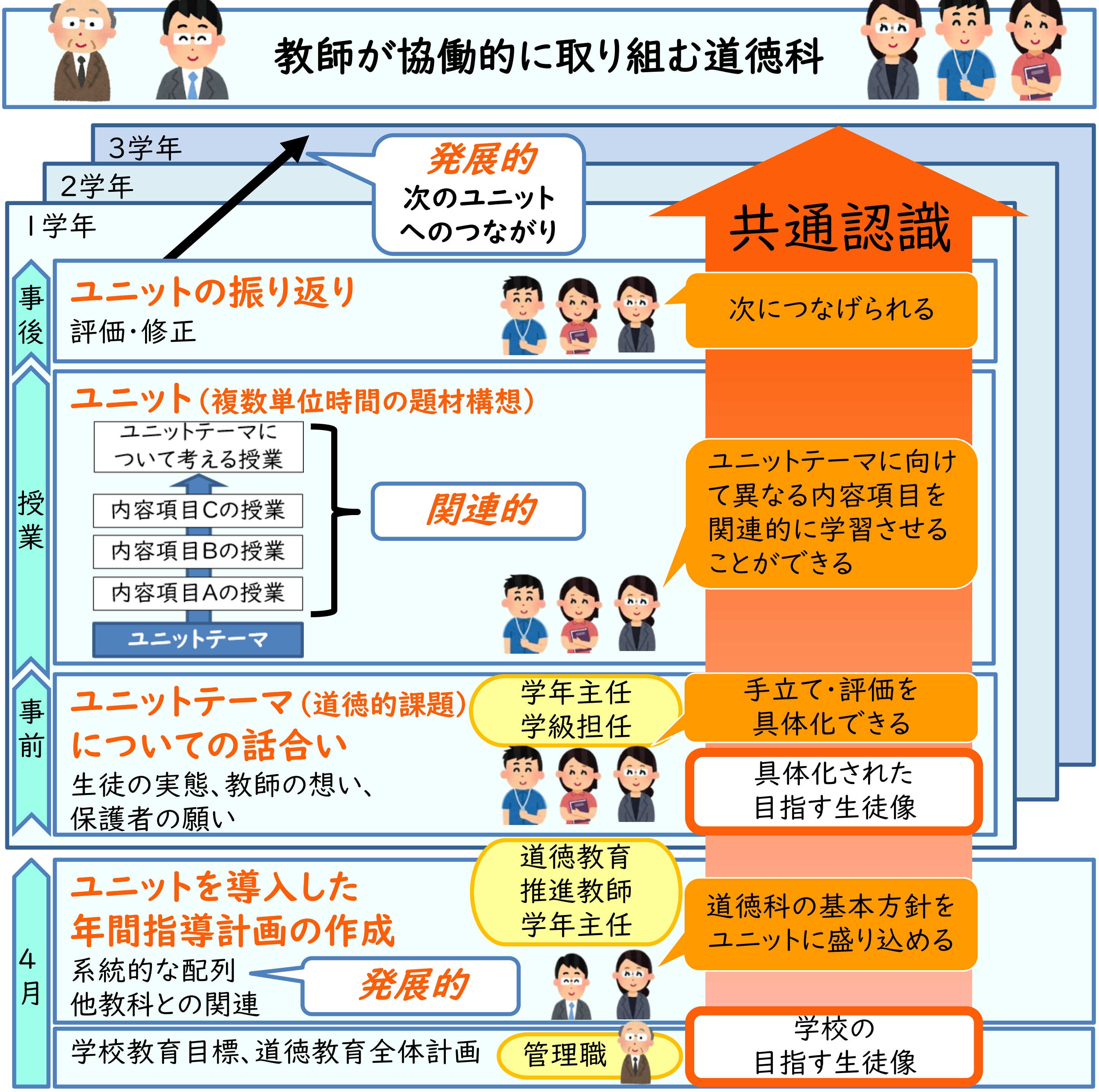
教師が協働的に道徳科に取り組むための カリキュラム・マネジメントについて
―ユニットを導入した年間指導計画の作成を通して―

長期研修員　内田　淳

研究構想図



課題

- ・学級担任任せな道徳
- ・１単位時間ごとの単発的な授業

国・県が求めること

- ・全教師が協力
- ・複数時間の関連を図った指導
- ・他教科との関連、全体とのつながりを意識した年間指導計画の作成

実践例

4月

学校教育目標
道徳教育全体計画・別葉

学校の目指す生徒像
「英知、礼節、強健」

ユニットを導入した年間指導計画の作成

年間8ユニット　22内容項目
5重点内容項目　計35時間

道徳の基本方針
自他を尊重できる生徒の育成

事前

ユニットテーマについて話合い

感謝について深く考えて欲しい(生徒の実態)
礼儀正しく(教師)
進んで挨拶（保護者）

ユニットテーマ
「しあわせを実感できるまちにするために」

具体化された目指す生徒像
「感謝の気持ちをもって地域と関わっていこうとする生徒」

他教科との関連
地域学習と関連させよう

手立て
円形のホワイトボードを使おう

評価の観点
「はっきり、変わった、広がった」

授業

ユニット

ユニットテーマ
郷土を愛する態度
公共の精神
感謝
ユニットテーマについて考える授業

ユニットテーマについて考える授業を設定したことで、異なる内容項目を関連的に考えさせる指導ができたよ

適切な補助発問ができたよ

事後

ユニットの振り返り

ユニットの評価
年間指導計画の修正

評価の観点に沿って、生徒の変容を見取ることができたよ

次のユニットではこうしてみよう

教師が協働的に道徳科に取り組むと…

教師間で道徳科について話し合う姿が多く見られるようになった

目標、手立て、評価について具体的なイメージをもって指導できた

関連的、発展的な授業ができた

成果　カリキュラム・マネジメントにより、教師が目指す生徒像について共通認識をもち、協働的に道徳科に取り組むことができた。

課題　ユニットについて話し合う場の設定が難しい　→　効率的に学年会の中で話し合う

提言　ユニットを導入した年間指導計画の作成を通したカリキュラム・マネジメントを行い、教師が協働的に道徳科に取り組めるようにしていきましょう